

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 19 日 (2020.3.19)

【公表番号】特表 2019-517952 (P2019-517952A)

【公表日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)

【年通号数】公開・登録公報 2019-025

【出願番号】特願 2018-555940 (P2018-555940)

【国際特許分類】

B 6 0 C 9/00 (2006.01)

B 6 0 C 9/08 (2006.01)

B 6 0 C 9/04 (2006.01)

D 0 2 G 3/48 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 9/00 C

B 6 0 C 9/08 D

B 6 0 C 9/04 D

D 0 2 G 3/48

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 7 日 (2020.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

円周方向 (X)、軸方向 (Y)、及び半径方向 (Z) の 3 つの主方向を定め、トレッド (3) を載置するクラウン (2) と、2 つの側壁 (4) と、2 つのビード (5) とを備え、前記側壁 (4) の各々が前記ビード (5) を前記クラウン (2) に接続し、さらに、少なくとも 1 つのビードワイヤ (6) のところで前記ビード (5) の各々内に固定されかつ前記側壁 (4) 内を前記クラウン (2) まで延びているカーカス補強部材 (7) と、前記クラウン (2) 内で円周方向 (X) に延びておりかつ前記カーカス補強部材 (7) と前記トレッド (3) の間に半径方向に配置されたクラウン補強部材又はベルト (10) と、を備え、ラジアルカーカス補強部材と呼ばれる前記カーカス補強部材 (7) は、撚り合わされて、らせん構造体を形成する N マルチフィラメントストランド (20a、20b、20c) を含むナイロン織物諸撚系 (30) で全体又は一部が構成されているラジアル織物レインフォースと呼ばれる実質的に半径方向に指向した補強要素によって補強されたゴムマトリックス又は組成物の形態のカーカスプライと呼ばれる少なくとも 1 つのプライを有する、航空機用ラジアルタイヤ (1) であって、

- N は 2 よりも大きく、
 - 各ストランドの T_i で示されるカウント数は 180 tex よりも大きく、
 - 各ストランドの T_{e1} で示される引張強さは 75 cN / tex よりも大きく、
 - 各ストランドの A_{r1} で示される破断伸びは 14 % よりも大きく、
 - 各諸撚系の T_{e2} で示される引張強さは 60 cN / tex よりも大きく、
 - 各諸撚系の A_{r2} で示される破断伸びは 18 % よりも大きく、
 - 各諸撚系の α で示されるらせん角度は 20 度より大きい、
- ことを特徴とするタイヤ。

【請求項 2】

Nは3又は4に等しい、
請求項1に記載のタイヤ。

【請求項3】

T_i は200texよりも大きい、
請求項1又は2に記載のタイヤ。

【請求項4】

T_{e_1} は80cN/texよりも大きい、
請求項1ないし3のいずれか1項に記載のタイヤ。

【請求項5】

A_{r_1} は16%よりも大きい、
請求項1ないし4のいずれか1項に記載のタイヤ。

【請求項6】

前記ナイロンはナイロン6又は6-6である、
請求項1ないし5のいずれか1項に記載のタイヤ。

【請求項7】

T_{e_2} は65cN/texよりも大きい、
請求項1ないし6のいずれか1項に記載のタイヤ。

【請求項8】

A_{r_2} は20%よりも大きい、
請求項1ないし7のいずれか1項に記載のタイヤ。

【請求項9】

前記各諸撚糸のらせん角度は22°よりも大きい、
請求項1ないし8のいずれか1項に記載のタイヤ。

【請求項10】

前記ラジアルカーカス補強部材(7)は、複数の半径方向に重ね合わされたカーカスプライを有し、
前記重ね合わされたカーカスプライの数は、3から10の範囲である、
請求項1ないし9のいずれか1項に記載のタイヤ。